緑丘新聞

発行所 小樽商科大学緑丘新聞会
小樽市稲穂町五丁目番外地
TEL 4950
購読料 一年 200円 半年 100円

KEEP YOUR EYES GOOD
シリコン処理 レンズクリーナー 東芝電機製 入荷
水島堂眼鏡店 花園町大通 TEL 1249

論説

大會社中心主義をすてよ

今年の夏も北海道は台風にたたきのめされた。特に今年の場合は例年よりも一層組織化して来ている。その中で水害は増加し、特に十一日初頭来襲に五十名以上の死者を出し、罹災人口は数十万を数えるという未曾有の大水害のような感じさえ与えないようだ。

このような未曾有の災害を反映して、今年の国には相変らず大会社中心主義の考え方に固執して中小企業を軽視する現象が多い。たしかに、今回のような未曾有の災害の場合には、大会社が組織されている大会社を通じて救援の手が伸ばされるのが最も早いかも知れないが、ここ数年来われわれが反覆して来た大会社中心主義、万事は計数管理中心主義、能率増進の名の下に労働強化を強いられ、労働者は日夜機械の一部品のように酷使されて来たのではなかったか。

今回のような未曾有の災害の場合には、大会社中心主義の考え方が反省されるべきであり、中小企業への考慮が最も必要であるはずだ。中小企業こそ災害の最も大きな犠牲者であるからである。

凡ゆるもの根源が農村にあるこの日本で、今日の自分の生活を築いて、国が興えられるのだというのは、それもそうだが、それでは自分の将来の国民生活を保証するとは言えないようである。そして今日の生活を犠牲にして国家に尽すことは、国家の不当な要求を黙認し、国家の犠牲になることを意味するのではないか。

有名会社の試験に応ずる者は、殆ど全部と言ってよい程に、強い望みを大会社に託している。中小企業への就職を希望する者は、殆ど全部と言ってよい程に、強い望みを大会社に託している。中小企業への就職を希望する者は、殆ど全部と言ってよい程に、強い望みを大会社に託している。

大会社に従業

第三百五十二号　（昭和25年8月15日　第三種郵便物認可）

大學祭に寄せて

平和な生活

☆ゲーテの「ヘルマンとドロテーア」に関連して☆

前田利道

学生諸君から「平和生活のために」という大学祭のモットーに沿った話、乃至ドイツ文学の話をとの依頼をうけ、種々の題目をしたために「ヘルマンとドロテーア」の話でもうた。

この物語を紹介するところが前にも「ヘルマン」の話を参照としているならば触れた。そこに扱われた問題が見出せるように考えられた。そこで現代の諸君にお話して欲しいものである。

この二冊はゲーテの作品中でお読み易い部類の多いものであり、世界的にも高く評価されている。これは恐らく現代の問題をも扱っている。そこで今日のわれわれの立場は、「ヘルマンとドロテーア」の世界は如何なるものの示唆をうけるかを、ということである。

この問題時の背景を先ず簡単にライン河中流右岸の風光明媚な地帯であり、みのり豊かな農村である。しかし、それの最も戦禍を蒙った時代、一七九四年八月ところで、ライン河の向う側フランスでは大革命の嵐つ口中にあった。平和な町の平和な小市民的生活と、ひしめく革命からの避難民と、この

ゲーテは「この叙事詩というジャンルの中で、小さい町の市民のかすを扱いて、世界に人間的なものの表出しようと試みた。時に「ヘルマンとドロテーア」の二冊である。

この物語を紹介するところが前にも「ヘルマン」の話を参照としているならば触れた。そこに扱われた問題が見出せるように考えられた。そこで現代の諸君にお話して欲しいものである。

この二冊はゲーテの作品中でお読み易い部類の多いものであり、世界的にも高く評価されている。これは恐らく現代の問題をも扱っている。そこで今日のわれわれの立場は、「ヘルマンとドロテーア」の世界は如何なるものの示唆をうけるかを、ということである。

この問題時の背景を先ず簡単にライン河中流右岸の風光明媚な地帯であり、みのり豊かな農村である。しかし、それの最も戦禍を蒙った時代、一七九四年八月ところで、ライン河の向う側フランスでは大革命の嵐つ口中にあった。平和な町の平和な小市民的生活と、ひしめく革命からの避難民と、この

の激しい対立のうちに挿は流行する。